

再犯防止のための日本の取組

～安全・安心な社会の実現に向けて～

京都モデル戦略にも盛り込まれた日本の取組を、各国に発信し、参照してもらうことで、再犯防止施策の充実に貢献し、安全・安心な社会の実現を目指します。

1 再犯防止の主な取組

- 個々の犯罪者の特性に応じたきめ細かな矯正処遇
- 地域ボランティア(保護司)を含む多機関が連携した社会復帰支援
- 法務省が運営する国連アジア極東犯罪防止研修所(UNAFEI)による再犯防止に関する国際研修



矯正局
ホームページ



保護局
ホームページ



UNAFEI
ホームページ



刑務所におけるダルク(薬物依存症リハビリ施設)
職員とのミーティング



刑務所での農業ビジネスコース



UNAFEIによる国際研修



協力雇用主の声

自信の持てない保護観察中の少年を責任者に抜擢したところ見事に期待に応えてくれ、私に信じあうことの大切さを教えてくれました。

保護司とは？

犯罪や非行をした人たちが再び罪を犯すことがないように、その立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。

地域に恩返しをしたいという思いでスタートした保護司活動ですが、罪を犯してしまったけれど、もう一度やり直したいと思った人のお手伝いができることに日々喜びを感じています。



保護司の声

2 再犯防止に関する国連モデル戦略(京都モデル戦略、KMS)

- 日本が京都モデル戦略の策定を提案・主導
- 加盟国に対し、再犯防止に関する実践的かつ柔軟な指針を提供し、再犯防止に貢献することを目的としたもので、上記の我が国の主な取組が盛り込まれている



詳細はこちら

京都コンgres開催

2021年3月

我が国が策定を提案

2021年5月

国連総会において採択

2025年12月



法務省
MINISTRY OF JUSTICE